

# オンライン開催による「アースデイ川越 in 昭和の街 2021」の SDGs 周知効果に関する考察

研究員：小瀬博之（総合情報学部総合情報学科 教授）

## 1. 研究の背景と目的

2020 年から続いている新型コロナウイルス感染症（COVID-19）パンデミックは、社会活動にあらゆる影響を及ぼしている。特に感染症拡大防止の観点から「3つの密」を避けることが求められており、多数の人を集めて実施する集会が行うことが困難な状況である。このような状況において、事業を継続するために「Zoom」や「Webex」などのオンライン会議システムが多く用いられるようになった。学内外の授業や会議、集会において多く用いられて有用性が確認されており、多くの人や組織の使用環境が整ってきたことから、「with/after コロナ」と言われる状況になってもオンライン会議システムは積極的に活用されると考えられる。

一方、2015年に国際連合で採択された「アジェンダ 2030」における「SDGs」（持続可能な開発目標）は、社会・経済・環境の3つの側面において、現世代と将来世代のニーズを満たしながら、誰一人取り残さない社会の実現を図る世界共通の目標として、認知と行動への機運が高まっている。本学でも2019年12月に川越キャンパスにおいて筆者が実行委員として参画した「第1回SDGsエコフォーラム」が開催され、さらに2020年6月には「学校法人東洋大学SDGs行動憲章」が制定され、全学を挙げてSDGsを推進する体制となった。

そこで、パンデミックの状況でもSDGsの周知と推進を図る必要性があると考え、オンラインを活用した実践的な取組を行ってその効果を把握することを研究の目的とした。

## 2. 「アースデイ川越」の開催経緯と2021年開催の概要

本研究が対象とした取組は、これまで主に屋外の会場において不特定多数の来場者を対象に行われてきた「アースデイ川越 in 昭和の街」である。「アースデイ」は1970年にアメリカのSenator Gaylord Nelson 上院議員の提唱により始まった環境運動であり、1990年代には世界各地で運動が展開されるようになった<sup>[1]</sup>。川越では1999年に「環境保全」と「国際交流」の周知を目的として「アースデイ・イン・川越」の第1回が開催され、2021年まで第23回継続的に開催されている。2018年からは「SDGs」（持続可能な開発）普及啓発をメインテーマとして、すべての人が持続可能な社会について考えるための提案をすることを目的として、特に小中学生等の子どもたちをターゲットとして環境問題や社会問題に取り組む団体等が出席を行っている<sup>[2]</sup>。

しかし、2020年は対面でのイベント実施が困難となり、ほとんどの出展がオンデマンド動画中心のオンラインで行われた。2021年は会場とオンラインを併用する方向で準備を進めていたものの、開催方法を決定する8月上旬の時点において埼玉県に緊急事態宣言が発出されていたため会場での開催を断念し、2年連続でオンライン中心の開催となった。「アースデイ川越 in 昭和の街 2021」の実施概要を表1に示す。2020年とは異なり、ライブ配信を主体としたプログラムを組んだ。なお、本研究においては、この行事によるSDGs周知効果を把握するために、筆者の授業履修者である学生を対象にアンケートを実施した。アンケートの実施概要を表2に示す。

表1 行事の実施概要

行事名	アースデイ川越in昭和の街2021
主催者	第23回アースデイ・イン・川越実行委員会
代表	小瀬博之
開催期日	2021年10月3日～10日
開催場所	オンライン
テーマ	オンラインで!つながるSDGs!
実行委員会参加団体	川越子ども応援パントリー、小江戸「川越」夢ピアノ・プロジェクト、かわごえ環境ネット、川越ワイズメンズクラブ、NPO法人かわごえ里山イニシアチブ、にじのちきゅうプロジェクト実行委員会、ボーイスクウト川越協議会、芝浦工業大学SDGs学生委員会 綾いと、東洋大学総合情報学部環境コミュニケーションゼミ(小瀬ゼミ)、生活クラブ生協川越支部、東洋大学小瀬研究室with仙波書房、芝浦工業大学、埼玉県水環境課、川越昭和の街の会
後援	川越市、川越市教育委員会、かわごえ環境ネット

表2 アンケートの実施概要

アンケート名	「アースデイ川越in昭和の街」の取組に見るSDGsの周知・推進について
対象者	東洋大学総合情報学部「CSR論」履修者(主に2年生)
実施期間	2021年10月3日～2022年2月7日
回答者数	61名(授業履修者66名中)
質問1	「アースデイ川越in昭和の街2021」のYouTubeで配信されたライブチャンネルのうち、視聴したプログラムをすべてチェックしてください。視聴は生配信(当日)でも録画配信(後日)でもかまいません。なお、録画配信の場合は、終了後作業を行ってチャプターをつけますので時間表示が変わります。(視聴なしも含めて17項目から複数選択)
質問2	「アースデイ川越in昭和の街2021」のZoomミーティングかWebexミーティングで実施された参加型ワークショップのうち、参加したプログラムをすべてチェックしてください。こちらは当日に接続して参加したものに限りです。(視聴なしも含めて5項目から複数選択)
質問3	「アースデイ川越in昭和の街」(2020と2021)のオンデマンドコンテンツで閲覧・視聴したものをすべて選択してください。(視聴なしも含めて28項目から複数選択)
質問4	視聴・参加したプログラムについて総合評価を5段階でしてください。(とてもよかった、よかった、どちらとも言えない、あまりよくなかった、よくなかったの5択)
質問5	印象に残ったプログラムやコンテンツについて100～400字程度で記入してください。
質問6	「アースデイ川越in昭和の街」及び各団体の取組がSDGsの周知・推進につながると感じますか。総合的に4段階で評価してください。(とても思う、やや思う、あまり思わない、思わないの4択)
質問7	今回の視聴・閲覧を通じて、SDGsの周知・推進のために個人や組織がすべきことは何だと思えますか。100～400字程度で記入してください。

### 3. 実施結果

「アースデイ川越 in 昭和の街 2021」では、表3に示す35点のオンラインコンテンツを配信した。No.1～No.4はライブ配信を行い、終了後に録画配信を行った。No.5～No.35はオンデマンドで視聴できるように期間内及び期間中に配信を行った。主なコンテンツのキャプチャ画像を図1～図14に示す。なお、これらのコンテンツは、2020年に配信したコンテンツも含め「アースデイ川越 in 昭和の街」YouTubeチャンネル<sup>[3]</sup>で閲覧することができる。

表3には、2022年2月10日までのYouTubeにおける視聴回数、また、アンケートに回答した61名の学生の質問1～3の回答をもとに視聴者数を集計した結果をそれぞれのコンテンツについて示す。

### 4. 考察

表3における視聴回数の傾向としては、特にNo.3やNo.7の音楽配信が高い傾向を示している。2020年も同様の傾向であり、知名度の高いミュージシャンや高校が検索されてアクセス数を得ているものと考えられる。次いで「川越のしごと紹介」の閲覧数が多い傾向にあるが、動画によってアクセス数に偏りがあり要因を把握する必要がある。ライブ配信を行ったNo.1やNo.4も一定のアクセス数があるが、これらはさまざまなコンテンツを含んでいる長時間の動画であることが関係していると考えられる。また、学生の視聴者数が多いことも関係している可能性がある。

質問5、質問7の自由回答についてテキストマイニングを行い抽出したワードクラウド(文章の特徴を表す単語のスコアとその出現頻度から単語の大きさを表現したもの)をそれぞれ図15と図16に示す<sup>[4]</sup>。質問5の「印象に残ったプログラムやコンテンツ」としては、川越の自然や近代建築のオンラインツアーやワークショップ(クイズ)、かわごえ里山イニシアチブの取組、子どもの貧困問題への関心が特に高い。質問7の「SDGsの周知・推進のために個人・組織がすべきこと」では、まずは身近なことの実践や参加が大切であること、また積極的に周知を図り多くの人に活動を広めるべきであるという意見が見られた。

質問4は「とてもよかった」が15名、「よかった」が37名、「どちらとも言えない」が9名、質問6は「とても思う」が29名、「やや思う」が29名、「あまり思わない」が1名、「思わない」

表3 オンライン配信したコンテンツの内容と視聴回数、学生の視聴者数

No.	形式	再生リスト	タイトル	内容の概要	*ライブ配信または ライブ配信での紹介 時間	再生時間	視聴回数 (2022.2. 10確認)	学生の視 聴者数 (n=61)
1	ライブ		アースデイ川越in昭和の街2021(10月3日第1部)「メインチャンネル」	ライブ配信で出展団体紹介、オンデマンド動画を見ながら出展者が説明及び司会との対話などを実施(オンデマンド動画の配信時間は*の通り)	10/3 10:45-15:00	4:01:54	466	46
2	ライブ		SDGs学生委員会続いと、SDGsゲーム_アースデイ川越2021/10/3	芝浦工業大学SDGs学生委員会-続いと-によるオリジナルの「SDGsクイズ」を、オンライン参加型のワークショップで2回実施	10/3 11:30-12:30,13:30-14:30	0:55:40	22	6
3	ライブ		アースデイ川越in昭和の町 オープニング・ウェルカム・ライブ	川越子ども応援パントリーと小江戸「川越」夢ビアン・プロジェクトにより、SDGsをテーマとしたオンライン音楽ライブを生配信	10/3 15:00-17:30	2:36:40	659	19
4	ライブ		アースデイ川越in昭和の街2021(10月10日)「メインチャンネル」	ライブ配信で出展団体紹介、オンデマンド動画を見ながら出展者が説明及び司会との対話、下記2件の双方向型ワークショップを実施(オンデマンド動画の配信時間は*の通り)	10/10 10:00-15:00	4:39:14	175	32
			ワークショップ「みんなのお家からつながる世界2021」	かわごえ環境ネット主催のワークショップ。双方向型で、参加者の自宅にあるものの原産地・生産地を調べて地図に共有し、世界とのつながりを共有。	10/10 11:00-12:00			17
			ワークショップ「『川越の自然』オンラインクイズ」	かわごえ環境ネット主催のワークショップ。2021年2月に参加団体が出版した「川越の自然」の内容から、川越の自然や動植物に関するクイズを参加者が回答する双方向型で実施。	10/10 13:00-14:00			16
5	オンデマンド	にじのちきゅうプロジェクト	SDGsを歌う「にじのちきゅうプロジェクト」の説明動画	にじのちきゅうプロジェクト主催により「虹の玻璃(にじのちきゅう)」を、オンライン合唱と川越女子高等学校音楽部の合唱の2部に分けて配信。ライブ配信ではプロジェクト代表と司会が対談しながら30分枠で動画を視聴。	なし	0:03:59	80	32
6	オンデマンド		「SDGsを歌う」Part1 にじのちきゅうプロジェクト		10/3 11:00-11:30	0:04:13	63	
7	オンデマンド		「SDGsを歌う」Part2 川越女子高校音楽部による合唱		10/3 11:00-11:30	0:11:06	388	
8	オンデマンド	『川越の建物近代建築編』オンラインツアー	『川越の建物近代建築編』オンラインツアー1「立門前通り」1	東洋大学の小瀬と仙波書房の神谷利一氏により、川越昭和の街(中央通り、立門前通り)とその周辺(大正浪漫夢通り、川越街道、一番街など)に広がる近代建築と町並みを全天周動画で公開。ライブ配信では、これらの動画を見ながら、川越の近代建築や町並みの魅力を紹介するオンラインツアーを60分枠で実施。	10/3 11:30-12:30	0:02:04	95	32
9	オンデマンド		『川越の建物近代建築編』オンラインツアー2「大正浪漫夢通り」		10/3 11:30-12:30	0:02:57	66	
10	オンデマンド		『川越の建物近代建築編』オンラインツアー3「仲町商店街」		10/3 11:30-12:30	0:02:49	38	
11	オンデマンド		『川越の建物近代建築編』オンラインツアー4「川越街道」		なし	0:03:00	29	
12	オンデマンド		『川越の建物近代建築編』オンラインツアー5「立門前通り」2		10/10 12:00-13:00	0:03:00	33	
13	オンデマンド		『川越の建物近代建築編』オンラインツアー6「中央通り」		10/10 12:00-13:00	0:03:00	26	
14	オンデマンド		『川越の建物近代建築編』オンラインツアー7「一番街」		10/3 11:30-12:30	0:03:01	31	
15	オンデマンド		『川越の建物近代建築編』オンラインツアー8「蓮馨寺北小路」		なし	0:02:33	28	
16	オンデマンド		かわごえ里山イニシアチブの田んぼ活動	「生きものはぐむ田んぼプロジェクト」を川越市福田地区で展開するNPO法人の活動紹介。ライブ配信では役員によるスライドを用いたプレゼンテーションを30分枠で実施。	10/3 13:00-13:30	0:02:04	19	22
17	オンデマンド	「川越の自然」オンラインツアー:	(仮称)川越市森林公園計画地「森のさんぼ道」を歩く1	川越市福田地区にある(仮称)川越市森林公園計画地「森のさんぼ道」のルートを歩いて撮影した動画。ライブ配信では出展者のかわごえ環境ネット所属の4名が、これらの動画と2021年2月に出版した『新訂版 川越の自然-雑木林・河川・公園・湧水・社寺林を訪ねて-』を見ながら、川越にある貴重な自然環境を紹介。	10/3 13:30-14:30	0:12:21	89	28
18	オンデマンド		(仮称)川越市森林公園計画地「森のさんぼ道」を歩く2		10/3 13:30-14:30	0:13:25	42	
19	オンデマンド		(仮称)川越市森林公園計画地「森のさんぼ道」を歩く3		10/3 13:30-14:30	0:34:57	39	
20	オンデマンド		(仮称)川越市森林公園計画地「森のさんぼ道」を歩く4		10/3 13:30-14:30	0:18:38	36	
21	オンデマンド	川越子ども応援パントリー	「川越子ども応援フードパントリー」の活動紹介	川越市内で子ども向けにフードパントリーを実施している団体の活動紹介と子ども向けに理解を促進する講演を収録した動画。ライブ配信では司会が2編の動画を配信して活動を紹介。	10/3 14:30-15:00	0:07:20	128	17
22	オンデマンド		フードパントリーってなあに?		10/3 14:30-15:00	0:08:28	48	
23	オンデマンド		SDGsとフードパントリー		なし	0:10:18	52	
24	オンデマンド	川越のごと紹介2021	1班_新報国製鉄(株)	芝浦工業大学環境システム学科の2年次演習「環境フィールド実習」において、9つの学生グループが川越市内の事業所に取材したごととSDGsの関係を子ども向けに解説した動画。ライブ配信ではダイジェスト版を中心に授業補助者の学生が20~30分枠で2回説明。	10/10 10:30-10:50, 14:00-14:30	0:05:06	259	26
25	オンデマンド		2班_初野建材工業(株)		なし	0:05:33	207	
26	オンデマンド		3班_櫻井印刷所		なし	0:04:48	24	
27	オンデマンド		4班_イー・レンジャー(株)		10/10 10:30-10:50, 14:00-14:30	0:04:37	202	
28	オンデマンド		5班_守山登建築研究所		10/10 10:30-10:50, 14:00-14:30	0:05:07	105	
29	オンデマンド		6班_川越法律事務所		10/10 10:30-10:50, 14:00-14:30	0:05:05	16	
30	オンデマンド		7班_株ヤオコー川越的場店		10/10 10:30-10:50, 14:00-14:30	0:04:44	179	
31	オンデマンド		8班_轟屋		10/10 10:30-10:50, 14:00-14:30	0:04:29	74	
32	オンデマンド		9班_陶舗やまわ		10/10 10:30-10:50, 14:00-14:30	0:05:32	88	
33	オンデマンド		【Saitamaリバー魚図(ウォーズ)】~川の魚を最新技術で図示する熱き戦い~【埼玉水環境課】	埼玉県水環境課が実施している川の生き物調査について、従来の漁獲方法と川の水の採取・測定による最新技術を紹介	10/10 12:00-13:00	0:04:48	50	9
34	オンデマンド		鉄紺オンラインゼミ2021「身近なごみ問題の調査と解決方法の実践~生ごみ処理器「キエーロ」とごみの量がわかるスマートごみ箱~」	東洋大学総合情報学部環境コミュニケーションゼミ(小瀬ゼミ)の3年次演習におけるグループワークの成果を2班のプレゼンテーションにより紹介	10/10 12:00-13:00	1:26:13	31	8
35	オンデマンド		川越ワイズメンズクラブ活動紹介2021【感動も知識も資源もリサイクル~古本再読】	ワイズメンズクラブの様々な取組とともに、2021年度新規となる「古本再読」事業をスライド動画で紹介	10/10 12:00-13:00	0:03:41	17	9
合計						17:02:24	3,904	319



図1 No.1 10月3日第一部メインチャンネル



図2 No.2 SDGs ゲーム



図3 No.3 オープニング・ウェルカム・ライブ



図4 No.4 みんなのお家からつながる世界2021



図5 No.4 『川越の自然』オンラインクイズ



図6 No.6 にじのちきゅうプロジェクト



図7 No.13 『川越の建物 近代建築編』オンラインツアー



図8 No.16 かわごえ里山イニシアチブの田んぼ活動(ライブ)



図9 No.17 『川越の自然』オンラインツアー(ライブ)

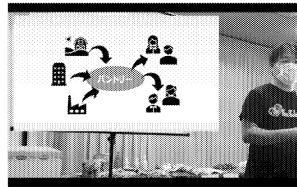


図10 No.22 フードパントリーってなあに?

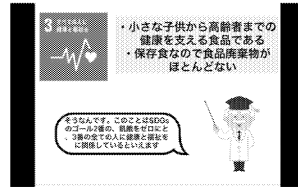


図11 No.31 川越のしごと紹介「8班 轟屋」



図12 No.33 Saitama リバ一魚図(ウォーズ)

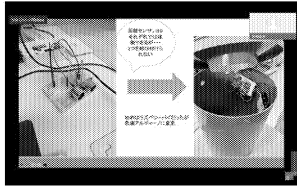


図13 No.34 鉄紺オンラインゼミ2021



図14 No.35 川越ワイズメンズクラブ活動紹介

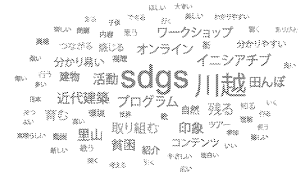


図15 質問5の全文章から抽出したワードクラウド



図16 質問7の全文章から抽出したワードクラウド

が2名であり、総じて評価は高かった。学生はアンケート課題としたことにより閲覧したことが「SDGs」への関心を高めるきっかけとなっているが、動画視聴回数を見るとそれほど高いものではないことから、動画を掲載するだけでなく、それをSNSなどで積極的に取組の周知を図ることにより、閲覧するきっかけを多くの人に与えることが重要と考えられる。

### 5. 結論

本研究は、オンライン開催による「アースデイ川越 in 昭和の街2021」を実施して、動画視聴回数とアンケートをもとにこの取組のSDGsの周知効果に関して考察した。オンライン配信の有効性は確認できたものの、不特定多数の視聴を得るためにはきめ細かな取組の周知が必要である。

2022年は同行事を会場とオンラインを併用して実施する予定である。本研究の結果を参考に、SDGsの周知効果がより得られるような取組にしていきたい。

### 参考文献

- [1] EARTHDAY.ORG: The History of Earth Day (<https://www.earthday.org/history/>) (2022.2.9 閲覧)
- [2] アースデイ川越 in 昭和の街ホームページ (<http://showanomachi.net/earthday/>) (2022.2.10 閲覧)
- [3] アースデイ川越 in 昭和の街 YouTube チャンネル (<https://www.youtube.com/channel/UCIUgapWpWgLL4IdQzkjhjUw>) (2022.2.10 閲覧)
- [4] ユーザーローカル テキストマイニングツール (<https://textmining.userlocal.jp/>) による分析